

芸術文化の本質を求めて

「もの」から「こころ」へ、質を重視する社会にとって、生活や産業に芸術文化の成果を活かしていくことが重要と考えられています。しかし、現実にはそれを職業として成立させていくための知見や実績が不足しており、十分な社会的理解が得られていないという課題があります。本授業では、絵画や工芸、デザインやキュレーションという行為を、社会が必要と認めるために如何に取り組むべきかについて、さまざまな事例を通じて学びます。表現の専門にとらわれず、創造的行為を社会に展開していく上で、共通に必要な発想法、思考法、実践方法について理解を深めます。

01 11月8日(火)
18:15~19:45(開場18:00)



「温故創新」

遠藤 秀平

Shuhei Endo
建築家

02 11月12日(土)
13:00~14:30(開場12:45)



「ヒトとマチをつなぐデザイン」

菊竹 雪

Yuki Kikutake
グラフィックデザイナー

03 11月22日(火)
18:15~19:45(開場18:00)



「ダンボールコミュニケーション」

玉田 多紀

Taki Tamada
ダンボール造形作家

04 12月6日(火)
18:15~19:45(開場18:00)



「場づくりから、まちづくりへ」

明石 博之

Hiroyuki Akashi
場づくり・まちづくりコーディネーター

05 12月13日(火)
18:15~19:45(開場18:00)



「漆に魅せられて」

スザン・ロス

Suzanne Ross
漆芸家

06 12月19日(月)
18:15~19:45(開場18:00)



「不完全の美」

筒井 紘一

Hiroichi Tsutsui
茶道資料館副館長
今日庵文庫長

07 1月17日(火)
18:15~19:45(開場18:00)



「景観から見た日本の心」

涌井 史郎(雅之)

Shiro Wakui
造園家

講師のプロフィールは、
WEBでご確認ください。



開催時間:

2 回目を除き
18:15~19:45
(開場 18:00)

2 回目(11月12日)
13:00~14:30
(開場 12:45)

会場:

高岡キャンパス講堂 (高岡市二上町180)